

令和4年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野東中学校	校長	大田 稔	生徒指導主事	安宅 政貴
-----	------------	----	------	--------	-------

取組事例名	『生徒会を活用した自律した生徒の育成』
-------	---------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「多様性に対する適応力」	3	「高い志・使命感」	2	「課題発見・解決力」	1

取組のねらい

生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開できるようにする

- 集団としての意見をまとめる話し合い活動を充実する
- ・生徒会の代替わりの際、執行部の生徒の思いを形にし、生徒全員においてそれぞれの思いを表現させる。このことを通して、自分の思いを共有するとともに他の人の思いに応える行動を考えられるようになる。
- 自分たちできまりをつくって守る活動を充実する
- ・生徒会を中心とした行事の実施を通して、生徒自身の学校を自らの手でよくしようとする態度を培うとともに、自身の行動に責任をもつことができるようになる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『委員会が活躍する学校』
----------	-------------------------

○生徒会活動の充実に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修の実施 ・現状を踏まえたスローガンの作成 ・スローガン紹介方法の検討
○生徒総会に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の課題を共有する ・道徳科と関連を図り「よりよい社会の実現」をめざす
○生徒会委員会の充実に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科と関連を図り、日々の委員会活動における「法やきまりを理解」させ、学校の秩序と規律を高められるようにする
○学校行事（体育祭、文化祭）に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科と関連を図り「役割と責任を自覚し集団生活の向上」させるために、よりよい集団をめざすために必要なことを一人一人が考える

取組の成果と課題

・「行事や体験活動に満足している」に肯定的に回答した生徒の割合が 89.3% (R3 : 86.8%) である。また、「何事にもやってみようという気持ちで前向きに取り組んでいる」に肯定的に回答した生徒の割合が 85.1% (R3 : 84.7%) である。行事の実施に向け、課題を解決する取組を通して達成感や前向きな気持ちをもつことができたと考える。今年度の取組はまだ途上であるが、複数年の取組を継続する中で、生徒とともに成果と課題を整理し、次年度以降の取組に生かしていきたい。